

フコク生命をよりご理解いただくため、 さまざまな広告・広報活動を行っております。

当社では、お客さまアドバイザーが直接お客さまの声をお聞きし、より良いサービスをお届けすることこそが、最大の広告・コミュニケーションの方法と考えております。皆さまとお客さまアドバイザーとのコミュニケーションを一層深め、より当社をご理解いただけるよう、さまざまな広告・広報活動による情報の提供に取り組んでおります。

イメージキャラクター

サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」を当社のイメージキャラクターとして、ポスター、パンフレット、チラシ、各種グッズなどに起用しております。

また、2014年度より全国62支社オリジナルのご当地キティを作成し、よりお客さまに身近な存在となるようさまざまなシーンで活用しています。



サンリオテーマパーク

「サンリオピューロランド」および「ハーモニーランド」のフレンドリーカンパニーとして、アトラクション「サンリオキャラクターポトライド」を提供しております。



東京スカイツリー®

当社は、東京スカイツリー®のオフィシャルパートナーです。



©TOKYO-SKYTREE

野球場フェンス広告

東京ドーム・阪神甲子園球場・札幌ドームのフェンスにハローキティのデザインが入った社名広告を掲出しています。



東京ドーム フェンス広告

フコク生命公式 Facebook

創業100周年に向けて、全国各地の「輝いている人」や「素敵な地域のつながり」の紹介を通じて、地域の未来を応援しています。また、当社の社会貢献活動やイベント情報、保険やお金にまつわるお役立ち情報なども紹介しています。



各種資料

フコク生命の経営内容を皆さまにお知らせするため、さまざまな資料を年1回作成しております。



●フコク生命の現状

ディスクロージャー(情報開示)資料として、経営内容全般について掲載しております。また、全国の事業所などに備置きし、自由にご覧いただけるようにしております。



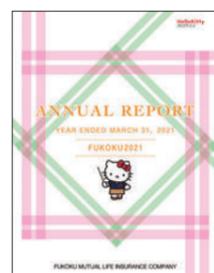
●フコク生命のご案内

「フコク生命の現状」の概要をまとめた冊子です。当社の今を、簡単におわかりいただけます。



●フコク生命 上半期 REPORT

当社の上半期業績の概要をお知らせする冊子です。



●アニュアル・レポート

海外の企業の皆さまや研究者の方々に、英語版の「アニュアル・レポート」を作成しております。



●フコク生命だより

ご加入契約の保障内容や現況について掲載した冊子で、年1回契約者さまあてにお送りしております。当社の決算内容やサービスなどの概要についても掲載しております。



SDGs達成に向けて貢献してまいります。

SDGsとは、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」で採択された、世界の貧困をなくし持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標(Sustainable Development Goals)のことで、2030年までに解決を目指す国際目標であり、17の目標と169のターゲットで構成されています。

フコク生命の取組みとSDGs

ゴール	取組内容	ゴール	取組内容
1 貧困をなくそう	●生命保険業を通じた保障の提供 ●世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド(開発途上国の貧困削減、開発支援)への投資	10 人や国の不平等をなくそう	●高齢のお客さまや障がいをお持ちのお客さまへの取組み ●障がい者雇用・女性活躍の推進 ●世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド(障がい者支援)への投資
2 飢餓をゼロに	●世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド(フードロス・食品廃棄)への投資	11 住み続けられるまちづくりを	●省エネ、省資源への取組み ●被災地への復興応援活動 ●フコク・クリーン倶楽部(FCC)活動
3 すべての人に健康と福祉を	●生命保険業を通じた保障の提供 ●フコク赤ちゃん&キッズクラブの運営 ●ピンクリボン運動、ハロースマイルへの協力 ●認知症サポーター認定取得の推進 ●健康経営への取組み ●健康経営配当の実施	12 つくる責任 つかう責任	●省エネ、省資源への取組み ●世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド(フードロス・食品廃棄)への投資 ●食料ロスの削減(「THE MUTUAL」およびさいクレヨンの配布)
4 質の高い教育をみんなに	●ライフプランセミナーの実施 ●数学の特別授業の実施 ●特別支援学校向けに訪問コンサートを開催 ●世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド(子どもの教育支援)への投資	13 気候変動に具体的な対策を	●役員による山林保護活動 ●米州開発銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド(適切な森林管理・アグロフォレストリー)への投資 ●クールビズの推進(「THE MUTUAL」ポロシャツの着用) ●世界銀行のグリーンボンドへの投資
5 ジェンダー平等を実現しよう	●フコク赤ちゃん&キッズクラブの運営 ●女性の活躍推進 ●アジア開発銀行のジェンダー・ボンド(ジェンダーの平等化及び女性の活躍推進)への投資	14 海の豊かさを守ろう	●世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンド(プラスチック廃棄物による海洋汚染問題)への投資 ●プラスチックの削減(「THE MUTUAL」エコバッグの配布)
6 安全な水とトイレを世界中に	●アフリカ開発銀行のインテグレート・アフリカ・ボンド、インダストリアル・アフリカ・ボンド、インフラストラクチャー・ボンドへの投資	15 陸の豊かさを守ろう	●役員による山林保護活動
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	●再生可能エネルギープロジェクトへの融資 ●グリーンボンドへの投資 ●環境配慮型の不動産開発	16 平和と公正をすべての人に	●コーポレートガバナンスの強化 ●コンプライアンスの推進 ●マネー・ローダリング及びテロ資金供与、反社会的勢力への対応
8 働きがいも経済成長も	●健康経営への取組み ●働き方改革の推進 ●障がい者雇用の推進 ●仕事と子育て・介護の両立支援	17 パートナーシップで目標を達成しよう	●国連責任投資原則(PRI)への署名 ●ステューワードシップ活動 ●特殊詐欺の被害防止に関する警察との連携 ●自治体との連携協定の推進 ●「THE MUTUAL」をコンセプトとした100周年プロジェクトの取組み
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	●ITを活用したサービスの提供 ●産学連携活動への支援 ●アフリカ開発銀行のインテグレート・アフリカ・ボンド、インダストリアル・アフリカ・ボンド、インフラストラクチャー・ボンドへの投資		



● ESG 投融資について

ESG 投融資に対する基本的な考え方

当社は、お客さまの利益を最優先とした資産運用を実践するとともに、生命保険業の公共性を踏まえ、資産運用を通じ社会的責任を果たしていくことに努めております。2016年3月には、責任投資原則（PRI）に署名し、受託者責任に反しない範囲において、投資の意思決定プロセスにESG*課題を組み込んでいるほか、スチュワードシップ活動においても、ESG課題をテーマの一つとし、投資先企業との対話などに注力しております。2020年6月には、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言へ賛同しました。今後も、気候変動を含む社会の持続可能性に影響を及ぼす様々な課題に対する問題意識を持ってESG投融資やスチュワードシップ活動の取組みを推進し、収益性の確保という受託者責任を果たしつつ、持続可能な社会の実現への貢献を目指してまいります。

※ E（環境、Environment）、S（社会、Social）、G（企業統治、Governance）

責任投資原則（PRI）の署名

当社は、国連の責任投資原則（PRI）の趣旨に賛同し、2016年3月21日に署名機関となりました。当該原則に則った投融資を行うことは、お客さまからお預かりしている大切な資金の収益性向上に資すると同時に、機関投資家としての責務をより一層果たしうると考えております。



ESG 投融資の主な取組事例

「生命保険事業を営む相互会社として持続可能な社会の実現に貢献する」経営方針に則り、環境問題を含む社会的課題の解決につながるテーマを持った資産等への投融資に取り組んでおります。

● 発展途上国の低炭素社会への移行を支援する取組み

2021年9月に世界銀行が発行するグリーンボンドへの投資を実施しました。調達された資金は、再生可能エネルギーの導入、エネルギー効率化、廃棄物処理や農業への新技術導入など、発展途上国における低炭素への移行や気候変動対策のためのプロジェクトを支援するために活用されます。



©World Bank

● 気候変動問題への取組み

2021年2月に米州開発銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資を実施しました。調達された資金は、ホンジュラスにおける適切な森林管理やアグロフォレストリー（樹木を植栽し、樹間で家畜・農作物を飼育・栽培する農林業）の導入などに充てられます。



©IDB

● ハイイールド債券投資を通じた持続可能な社会の実現への貢献

2021年12月にグローバル（先進国および新興国）のハイイールド債券を投資対象とするファンドへの投資を実施しました。当ファンドでは、運用会社が独自のESG評価を基に発行体とエンゲージメント（建設的な対話）を行い、改善を促すことで持続可能な社会の実現と良好なリターンとの両立を目指します。

● 子どもの教育支援への取組み

2020年9月に世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資を実施しました。債券投資を通じて、コロナ禍における教育支援の重要性を発行体と投資家が共に提起する世界初の案件です。調達された資金は、トルコにおける新型コロナウイルス感染症拡大に対する教育分野の迅速な対応をサポートすることなどに充てられます*。



©World Bank

*世界銀行がサステナブル・ディベロップメント・ボンド発行により調達した資金は、前記を含む世界銀行のプロジェクトへの融資全体を支えています。

● リサーチへの組み込み

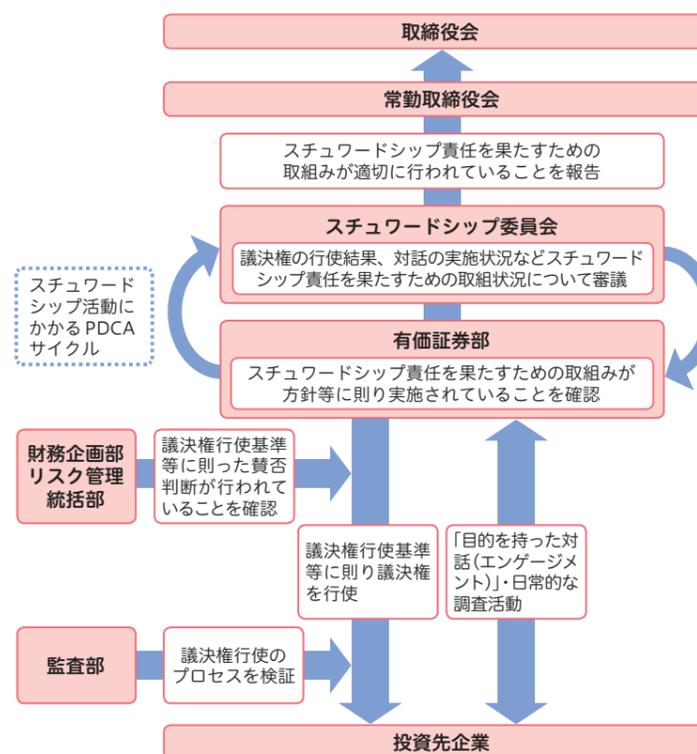
国内株式について、銘柄選定の際、PRI署名機関でESG評価にかかる豊富なノウハウを有する子会社の富国生命投資顧問より提供されるESGスコアにもとづくスクリーニングを実施しているほか、スチュワードシップ活動において把握したESG情報も投資判断の要素に含めております。また、一部の債券についてESG情報にもとづくスクリーニングを実施しております。

● スチュワードシップ活動

当社は、「責任ある機関投資家」の諸原則「日本版スチュワードシップ・コード」を受け入れ、「スチュワードシップ責任を果たすための方針」「スチュワードシップ責任を果たすに当たり管理すべき利益相反についての方針」「議決権行使についての方針」を制定し、主要投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）に注力しております。スチュワードシップ委員会では、議決権の行使結果や対話の実施状況などスチュワードシップ責任を果たすための取組状況を審議し、その内容は取締役会に報告しております。社外委員を委員長とするスチュワードシップ委員会での審議内容を踏まえつつPDCAサイクルを継続的に実践し、スチュワードシップ活動の透明性および実効性の向上を図っております。

引き続き、投資先企業とのエンゲージメントや議決権行使などのスチュワードシップ活動を通じ投資先企業の持続的成長を促し、お客さまからお預かりした大切な資金の中長期的なリターンの拡大に資するよう努めてまいります。なお、スチュワードシップ活動の詳細については、当社のホームページで公表しております。

【スチュワードシップ活動体制イメージ図（一般勘定）】



【スチュワードシップ委員会の概要】

構成
【社外委員】2名 （委員長は社外委員の中から選定） 【社内委員】5名 コンプライアンス統括部長（利益相反管理統括者） リスク管理統括部長 総合企画室長 有価証券部長 財務企画部長
審議事項
・議決権行使のうち重要議案の賛否判断に関する事項 ・投資先企業との対話の実施状況 ・スチュワードシップ活動における利益相反防止態勢に関する事項 ・スチュワードシップ活動に関する社内規程等の改正案に関する事項 ・その他、スチュワードシップ活動に関する事項
開催
原則年4回

環境へ配慮した活動を推進しております。

温暖化対策をはじめとする気候変動の問題は、持続可能な社会に与える影響が大きいと考えております。当社は、環境保護への取組み（省エネ・省資源への取組み・山林保護活動）や資産運用を通じた取組み（ESG 投融資）などを通じて、環境へ配慮した活動を推進しております。

● 環境保護への取組み

「フコク生命（いのち）の森」プロジェクト

2006年度より、環境保護活動に参加・体験することのできる場として、「竹害*対策」を主とした「フコク生命（いのち）の森」プロジェクトを行っております。

「フコク生命（いのち）の森」プロジェクトは、当社が静岡県伊東市宇佐美に保有する山林を保全するため、竹林伐採を当社社員の手によって行う活動です。森の再生だけでなく、間伐により竹林自体も健全な状態に戻していくことを目標とし、社内の有志により組織された「宇佐美倶楽部」が中心となって進めています。（2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、中止していましたが、一部活動を再開）

*放置された孟宗竹が森林を侵食。根の浅い竹林が、地すべりや表土の流失の原因ともなり、山林の荒廃や土砂崩れなどの災害を引き起こします。



フコク・クリーン倶楽部 (FCC) 活動

2006年度より、千葉ニュータウン本社勤務者有志の団体「フコク・クリーン倶楽部 (FCC)」による、最寄駅「北総鉄道千葉ニュータウン中央駅」の駅前清掃活動を実施しております。



環境配慮型の不動産開発

2010年にオープンした大阪富国生命ビルは、大阪市建築物総合環境評価制度において、「第5回顕彰建築物 CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2010」の表彰を受けております。

また、2017年にオープンした札幌フコク生命越山ビルは、米国の環境性能評価システム LEED において、札幌では初となるゴールド認証や、DBJ（日本政策投資銀行）の Green Building 認証制度において4つ星を取得しており、省エネや環境に配慮したオフィスビルとして評価を受けております。

さらに2019年度に竣工した小岩フコク生命ビルでは、壁面緑化や高効率設備を採用すること等により、当社では初となる、国が推進する建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) において、最高ランクおよび ZEB Ready 認証を取得しました。

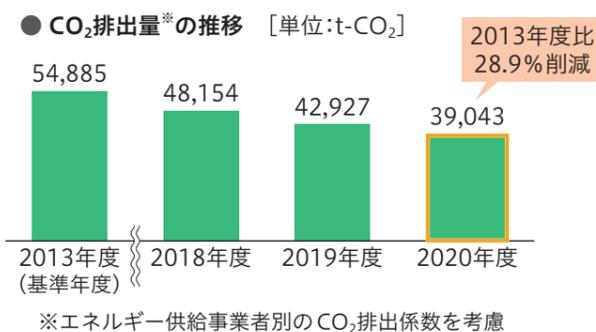


小岩フコク生命ビル 大阪富国生命ビル 札幌フコク生命越山ビル

省エネ・CO₂排出量削減の取組み

当社は、事業活動に伴う CO₂ 排出量（社有不動産および賃借事務所の消費エネルギーを換算）を2030年度までに2013年度比46%削減することを目標に、高効率空調設備やLED照明、昼光・人感センサー等の導入に取り組んでおります。千葉ニュータウン本社では、太陽光と風力を利用したハイブリッド屋外灯を12基設置するなど省エネに努めております。

その結果、2020年度の CO₂ 排出量は2013年度比で28.9%削減となりました。



TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言への賛同

当社は2020年6月に、金融安定理事会により設置された気候関連財務情報開示タスクフォースの提言（以下、TCFD 提言）への賛同を表明しました。TCFD 提言への賛同は、気候変動問題の重要性を認識したうえで、安心して持続可能な社会の実現を目指す当社の姿勢を表明するものです。



ガバナンス	サステナビリティワーキンググループにて、気候変動問題を含む SDGs 取組状況のモニタリングを行い、取締役会に報告しております。
戦略	気候変動関連リスクの適切な管理を通じて、収益の下振れを抑制するとともに、収益獲得の機会としても活用してまいります。 【リスク】 ○地球温暖化に伴う台風や洪水などの自然災害の発生による保険金等の支払増加や、平均気温上昇に伴う蚊を媒介とする熱帯性感染症などの発生による疾病罹患率・死亡率の上昇（物理的リスク） ○低炭素・脱炭素社会への移行に伴う政策変更や技術革新などによる投融資資産の価値の毀損（移行リスク） ○気候変動問題の主因である温室効果ガスの排出削減に取り組まないことによる評判の悪化（風評リスク） 【機会】 ○気候変動がもたらす様々なリスクによる保障ニーズの増加 ○気候変動問題の解決に資する企業やプロジェクトへの投融資による運用収益の獲得機会の増加 ○減災などの取組みによるステークホルダーからの評価の向上
リスク管理	地球温暖化および大規模水害に伴うリスクをエマージングリスクとして特定し、発生の可能性と影響度の評価を行い、統合的リスクの観点で管理しております。 【物理的リスク】 ○平均気温の上昇による熱帯感染症の流行についてシナリオテストを実施し、保険金および給付金の増加額の定量的評価を行い、財務への影響を確認 ○大規模水害（高潮および洪水）について営業拠点ごとのリスクを5段階で評価 【移行リスク】 ○低炭素・脱炭素社会への移行に伴う政策変更や技術革新などにより生じる信用リスクや市場リスクの適切な管理とその高度化
指標と目標	【生命保険事業者】 指標：事業活動に伴う CO ₂ 排出量（社有不動産および賃借事務所の消費エネルギーを換算） 目標：2030年度までに2013年度比46%削減、2050年度までにネットゼロ 【機関投資家】 指標：運用ポートフォリオにおける CO ₂ 排出量（国内上場企業の株式・債券・融資を対象） 目標：2050年度までにネットゼロ

よりよい社会づくりのため、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

● 芸術文化（アート）をとおして、つながっていくさまざまな活動

芸術文化（アート）には、「さまざまな人々をつなげていく力」があります。当社はこれまでクラシック音楽のコンサート活動を通じ、多くのお客さまや地域の方々、また障がいのある子どもたちと音楽をとおして、つながってまいりました。そして、こうした芸術文化（アート）による活動は、コンサートだけにとどまらず、さまざまな活動へと発展・成長し続けております。

「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」

この活動は、1989年度に始まった内幸町本社ビルでのロビーコンサート「フコク・サロンコンサート」から発展してきました。

プロの音楽家による本物のクラシック音楽を、特別支援学校や障がい者施設の方々へお届けする「訪問コンサート」と、ご来場の方々に地域の福祉にお役立ていただく募金へのご協力をお願いする「チャリティコンサート」を、同じ地域であわせて開催する活動です。

「訪問コンサート（オンライン）」

2021年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、今までのようなコンサートの開催が難しくなりました。このような状況下でも、コンサートをとおした社会貢献活動を継続するため、全国の特別支援学校とコミュニケーションを双方向で行う、オンラインコンサート^{※1}を開催しました。また、「訪問コンサート^{※2}」を1校開催しました。その他、コンサート映像をDVDに収録し、「訪問コンサート」に代えて特別支援学校に寄贈^{※3}しました。



オンラインコンサート鑑賞風景



「訪問コンサート」



DVD収録風景(日本フィルハーモニー交響楽団による弦楽四重奏)

※1 2021年度「訪問コンサート(オンライン)」開催校(開催時期順・敬称略)

北海道教育大学附属特別支援学校
高知県立盲学校
福島県立会津支援学校竹田校
福島県立聴覚支援学校会津校
長野県稲荷山養護学校
千葉県立松戸特別支援学校
群馬県立豊学校

※3 2021年度「訪問コンサート」DVD寄贈校(敬称略)

宮城県立角田支援学校
福島県立平支援学校
岩手県立盛岡ひがし支援学校
福島県立大笹生支援学校
北九州市立門司総合特別支援学校
岩手県立盛岡峰南高等支援学校
北海道帯広養護学校
福島県立猪苗代支援学校
福島県立郡山支援学校
福島県立いわき支援学校
愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

※2 2021年度「訪問コンサート」開催校

埼玉県立和光特別支援学校

●「フコク生命パートナー・アーティスト」

コンサートに出演するのは、当社の活動趣旨に賛同し、相互理解を深めた「フコク生命パートナー・アーティスト」です。

単なる出演者ではなく、ともにさまざまなプログラム創りなども行い、活動を進めていく重要なパートナーです。日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーや、国内外で活躍するトップレベルの音楽家で構成されています。



オンラインコンサートのライブ配信風景
タカギクラヴィア(株)にて

●「フコク生命パートナー・コンサート・チューナー」

「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」の趣旨に賛同していただいているタカギクラヴィア株式会社に、「フコク生命パートナー・コンサート・チューナー」として当社のコンサート活動をサポートしていただいております。

世界三大名器の一つである「スタインウェイ」社製のピアノを、ホールまで自社で運搬・搬入し、ピアニストの個性に合わせた調律はコンサートの要となっています。



ピアノの調律風景

「すまいる・ぎやらりー」～特別支援学校生徒作品展～

2012年度より、障がいのある子どもたちのアート制作を応援する活動として、内幸町本社ビル地下2階の商店街壁面を利用して、全国の特別支援学校生徒の美術作品を展示する企画「すまいる・ぎやらりー」を開催しております。

この活動は、当社が2003年度から行ってきた特別支援学校へお伺いして開催する「訪問コンサート」をとおした交流の中から生まれました。

作品の発表の場を提供することで、少しでも障がいのある子どもたちのアート制作を応援できればと思っております。

なお、100周年特設WEBサイトから、出展作品をご覧くださいいただけるようになりました。



当社内幸町本社地下2階の商店街壁面に作品を展示

■2021年度「すまいる・ぎやらりー」出展校

(開催時期順・敬称略)

福島県立須賀川支援学校	宮城県立石巻支援学校
福島県立石川支援学校	福島県立猪苗代支援学校
福島県立郡山支援学校	国立大学法人筑波大学附属聴覚特別支援学校
福島県立会津支援学校・竹田校	福島県立平支援学校
岩手県立釜石祥雲支援学校	千葉県立特別支援学校流山高等学園
福島県立大笹生支援学校	福島県立西郷支援学校



当社作成のカレンダー

METライブビューイングへの協賛

ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場（MET）で上演されたオペラ公演をハイビジョン映像で映画化し、上映する「METライブビューイング（松竹株式会社配給）に協賛しております。最上級のオペラ芸術に接する機会をご提供する活動に協賛することで、芸術文化振興に貢献しております。

2021-22シーズンは、新型コロナウイルス感染症のため中止となっていた公演が、2021年9月よりニューヨークのメトロポリタン歌劇場にて開幕したため、引き続き、「METライブビューイング2021-22」に協賛しております。



©Marty Sohl / Metropolitan Opera

● その他の社会貢献活動

被災地への復興応援活動（被災地特産品販売会）

東日本大震災で被災した福島県・宮城県・岩手県の東北3県の「被災地特産品販売会」を、2011年度より内幸町本社・千葉ニュータウン本社にて継続して開催しております。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として社外販売は中止し、社内限定の予約販売に加え、対面での販売も再開しました。（福島県は、開催日がまん延防止等重点措置期間内にあたり対面販売は中止）

また、各県販売会の開催時に、千葉ニュータウン本社地下食堂にて、各県特産品を使用した特別メニューの販売と、ご当地弁当を販売し、その代金の一部を被災地に寄附しました。



宮城県特産品販売会



千葉ニュータウン本社地下食堂での特別メニュー・短角牛ハンバーグ



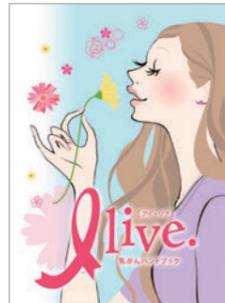
ご当地弁当

ピンクリボン運動、Hellosmile (ハロースマイル) への協力

当社では、2008年度より乳がん検診の大切さを伝え、患者さんを支えていくピンクリボンフェスティバルへの協賛などを通じ、ピンクリボン活動を支援しております。

2011年度からは子宮頸がんの予防啓発を推進するプロジェクトの支援も行っております。

具体的な取組みとして、当社職員がピンクリボンバッジやHellosmileバッジをつけ「啓発パンフレット」などをお客さまに配布して、検診の大切さを伝えるなどの活動を行っております。



認知症サポーター認定取得の推進

2018年10月より認知症の方へ適切な対応ができるよう認知症サポーター認定の推進を開始しました。2022年5月1日時点で9,477名が認知症サポーター認定を取得し、認知症症状のある方やそのご家族に接する機会があった際、適切な手助けを行っております。

また2019年度から全国の支社・本社に自前で認知症サポーター養成講座を実施する「認知症キャラバン・メイト」を配置しました。



「特殊詐欺」被害防止に向けた啓発活動への協力

社会問題となっている「特殊詐欺」の被害防止に協力するため、お客さまアドバイザーと各都道府県警察が共同で使用可能な特殊詐欺被害防止啓発用のチラシ・ティッシュを作成しました。

2021年度までに28都道府県の警察にご協力いただき、警察署にチラシ・ティッシュを配備していただく、駅前などでお客さまアドバイザーと共同で配布するなどしてご利用いただいています。



各都道府県警察と共同で作成しているティッシュ (画像は警視庁版)

各都道府県警察と共同で作成しているチラシ (画像は警視庁版)

大阪富国生命ビルでの産学連携活動への支援

2010年に竣工の大阪富国生命ビルは、瓜生山学園京都芸術大学「大阪サテライトキャンパス」、立命館大学「大阪梅田キャンパス」など、大学関係施設や産学連携活動の支援施設などを誘致し、芸術文化、健康などに関する情報を地域社会に発信しております。

また、大阪大学の先生方が中心となり設立された植物研究を通じた緑豊かな生活環境の構築を目指す「智の木協会」へも参画しております。



社有不動産活用による待機児童解消に向けた取組み

待機児童問題などの社会的な課題解決へ貢献するため社有不動産に保育所等を積極的に誘致しており、現在では、東京都に2カ所、埼玉県、大阪府、和歌山県に各1カ所ずつ開設され、地域の皆さまにご利用いただいています。



「お客さま基点」を実践できる人づくりに力を入れております。

当社は、あらゆる企業活動の原点として「お客さま基点」を掲げ、徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社を目指しております。そして、この「お客さま基点」を実践し、徹底した差別化を生み出していく源泉は「人(従業員)」であると考えております。

当社では、2011年に「人づくり」を推進する部門として人材開発本部を立ち上げました。本部長には社長が就任し、全役職員へのメッセージとして「人づくり宣言」を発信するとともに、「人づくり基本方針」を策定・発表し、会社が求める人材像と人づくりに向けた基本姿勢を示しました。経営方針のひとつである「“お客さま基点”での人材育成を通じて、職員の働きがいを高める」にもありますように、当社の「人づくり」とは、働くすべての人が働きがいをもち、お客さま基点を実践できるよう、「個」としての成長を促す“環境”や“場”をつくることです。今後とも、この「人づくりは場づくり」という基本方針のもと、お客さまアドバイザー、内務職員の中長期での人材育成に経営資源を配分し、重点的に取り組んでまいります。

1 人づくり宣言

フコク生命は「人」が原点である。

この厳しい環境のもと、「徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社となる」という“ありたい姿”を実現するためには、勝てる、強い組織をつくり上げなければならない。そのためには、職員一人ひとりの個性を活かし、尊重する「本当の意味で人が育ち、活躍できる」組織づくりが必須である。

皆が人を育てるという意識を持ち、フコク生命ならではの「人づくり」の文化を築いていこうではないか。

～「人づくり宣言」(2011年10月)より抜粋～

2 人づくり基本方針

成長を支える「人づくりの根幹」と、それを通じて身につけて、高めてほしい、フコク生命の『求める人材像』3つの要件

求める人材像

- 自発**
 - 自ら考え行動する
 - 勇気をもって挑戦する
- 独創**
 - 自分らしく創意工夫する
- 利他**
 - 相手の身になって考える
 - 相手を思いやる

信賴して任せ

- 失敗を恐れずに、「成長」を見守る

人づくりの根幹

多様な個性を認め合う

- 「個性」は、認められてはじめて「強み」となる

フコク生命で働く全員が身につけて、高めてほしい人材像

部下・後輩を持つ役職員の基本姿勢

社長自らが「場づくり」に取り組んでいます

社長車座ミーティング

社長自ら、職員と膝を突き合わせて双方向で対話をする「場」を設けています。トップメッセージとして会社の目指していることや方向性、お客さま基点についてなどを直に伝えると同時に、職員からの率直な質問や意見を聞いて、その場で回答しています。

■2011～2021年度開催実績 (過去11年間)

回数	参加者数
300回	2,243名



女性活躍推進フォーラム

当社では、個々人がモチベーションを高めながら、一人ひとりがやりがいをもち、生き生きと働けるよう、女性活躍を人づくりの重要施策の一つに位置付けています。2012年よりお客さまアドバイザー・内務職員合同の研修「女性活躍推進フォーラム」を毎年開催し、モチベーション向上・次世代の女性リーダーの育成に力を入れています。

■2012～2021年度参加者数 (過去10年間)

総数	お客さまアドバイザー	内務職員
253名	130名	123名

